



Leaf

平成26年3月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 沼里 進

盛岡赤十字病院医療連携だより No.27

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



+ 「前方・後方の医療連携強化」

副院長（血液内科部長・地域医療連携室長）

村井 啓子

いつも、連携各施設の皆様方には大変お世話になっております。

今年4月は、診療報酬改定の年ですね。厚労省もすでに「医療単独」よりも「医療と介護・福祉との連携強化」に力をいれてきております。これからは地域における医療連携がますます重要になって来ています。

当院でも、急性期病院として地域医療支援病院をめざしておりますので、それに対応しながら、遅ればせながら、「前方・後方の医療連携強化」を緊密に、また「紹介・逆紹介」をよりスムーズに行うために、2つの方法を取り入れました。まず、第1番目には、本年4月より専任の連携室・看護師長を新設、配置する事にしました。これにより紹介・逆紹介がより円滑に進むものと期待されます。ぜひとも、患者さん紹介のときは、当看護師長にご連絡をいただければ、素早く、外来診療予約や入院予約ができるように配慮しましたので、よろしく願いいたします。また、第2番目には、医局の医師の院内携帯電話番号を、当院と連携登録している医療機関の先生がたには公開させていただくこととしました。このことにより、患者さんの紹介・逆紹介に際し、医師に直接連絡することができ、患者さんの紹介をスムーズに運営することができます。これは現在、準備中ですので、実際に可能な日時が決まりましたら、再度、ご連絡いたします。

また、新規で、当院と新たに医療連携ご希望の医療機関様には、地域医療連携室までご連絡いただければ幸いです。

地域の患者様への医療サービスの向上につながるようスムーズな紹介・逆紹介をしたいと思っております。

今後も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

+ がん医科歯科連携事業のお知らせ

副院長兼緩和ケア科部長 旭 博 史

歯科診療科のない当院では盛岡市歯科医師会のご協力をいただきNST(栄養サポートチーム)と歯科医師が協同して口腔ケアラウンドを行っております。このラウンドを担当する看護師は「お口みがき隊」の愛称で院内にはよく知られており、「食べられるお口づくり」を目指しております。この医科歯科連携による口腔ケアを開始して4年が経過しました。昨年からは新しいがん基本対策法のなかで示された「がん患者の口腔ケアへの取り組み」に対応する形で、新たに周術期口腔機能管理を開始し、術前術後および化学療法施行前に良好な口腔内の状態となるように、外来からの口腔ケア活動に取り組んでおります。がんの治療においては、口腔の衛生状態や健康度が治療の経過や予後に大きく関わるのが種々の研究から明らかになり、がん治療の支持療法のひとつとして歯科治療、口腔ケアが位置づけられています。具体的には、「全身麻酔によるがん手術」前後の口腔機能管理による手術時のトラブル防止や誤嚥性肺炎、局所感染の予防と「放射線・抗癌剤治療」の場合の口腔粘膜炎や口腔内感染症、味覚障害等に対する口腔機能管理をがん治療の支持療法として位置づけ、治療の質の向上を目指すことにあります。県歯科医師会から講師を招き、近隣施設のスタッフと一緒に周術期口腔機能管理についての講演会を行い、さらに、連携を紫波歯科医師会にも拡げております。



口腔ケアラウンド風景

切れ目の無いシームレスな口腔ケアを継続していくには地域の医師会、歯科医師会だけにとどまらず、地域の診療機関、介護施設や在宅サービスなど、様々な方々のご協力が必要です。今後も地域NSTをとおして、職種や施設を問わず口腔ケアへの関心を高め、地域連携をさらに深めていくことが重要と思います。関係者の皆様にはいままで通りご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

お問い合わせ先

地域医療連携室：川村
(内線369)

+ 虚血性心疾患が疑われる患者さんは当院へ

循環器科副部長 金 矢 宣 紀

当科では、狭心症などの虚血性心疾患が疑われる、あるいは否定できない患者さんへは、より積極的に冠動脈造影を施行する方針で診療しております。検査はなるべく早期に行えるよう検査枠を拡大し対応しております。治療として、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)を当院で行っております。また、冠動脈バイパス術の適応と判断した患者さんは、近郊病院心臓血管外科へ直接紹介して手術を行って頂いております。

カテーテル手技は、合併症リスクを減らし、かつ低浸襲で行う事を心がけており、全例、橈骨動脈穿刺で行っています。PCIは、平成24年4月から平成26年1月までに81病変枝へ施行し、内訳は、左冠動脈主幹部2例、右冠動脈23例、前下行枝34例、回旋枝22例でした。この内6例が慢性完全閉塞病変でした。成功率95%で、大きな合併症は見られておりません。再狭窄率8%、再PCI率4%でした。

胸痛主訴の患者さんや、糖尿病などがあり虚血性心疾患の存在が疑われる患者さん、など、ご紹介頂ければ、御力になれるものと考えております。今後ともどうぞ宜しく御願い申し上げます。

放射線治療再開のお知らせ

(株)バリアンメディカルシステムズ製 医療用リニアック装置

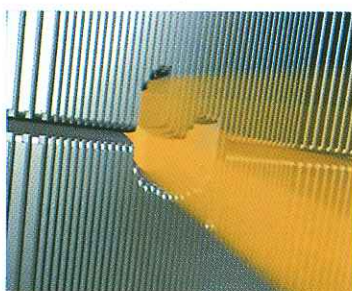
当院ではこのたび、放射線治療装置を最新型(米国バリアン社製:CLINAC iX)に更新し、4月1日から放射線治療を再開する予定です。

この装置では強度変調放射線治療(IMRT)が可能です。

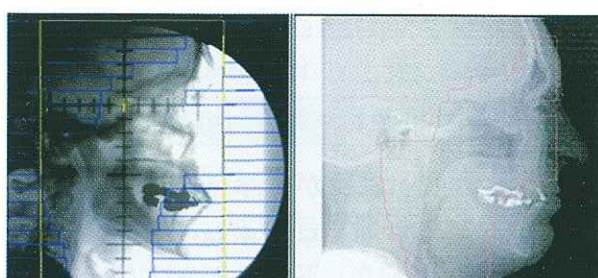
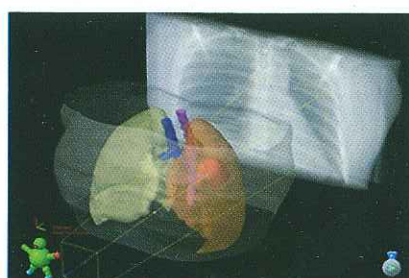
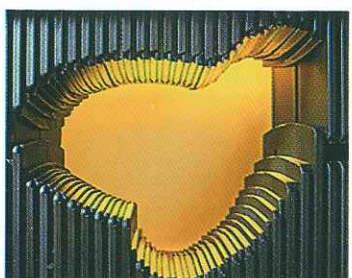
IMRTは新しい放射線治療方法で腫瘍に強力な放射線を集中して照射し、周囲の正常組織に対しては副作用の発生を軽減することが可能です。

また、画像誘導放射線治療(IGRT)も可能となっています。

IGRTは2次元・3次元の画像を取得し、体位や臓器等の位置ずれを認識、補正を行いますので、より正確な治療が行えます。



治療は、ベッドに寝ているだけで終了します。当院の装置は、3次元立体画像での治療計画が可能で、60対のマルチリーフコリメータで限局的に策定した箇所への照射が可能です。



4月1日(火)から受付を開始、4月7日(月)から照射開始の予定です。
(IMRTは主に前立腺がんや頭頸部がんが対象です。手技や操作に熟練を要するため、IMRTの実施は装置稼働開始の1年後からを目指して準備を進めます。)

お問い合わせ先

放射線科外来 (内線 470)

+ 盛岡赤十字病院

(平成26年3月15日現在)

※平成26年4月変更になります。

外来診療担当医師一覧

午前		月	火	水	木	金
総合内科 <small>※毎月第2・4火曜日の午後…腎・内分泌外来</small>	新患	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子
	再来			医大医師	菅原 俊郎	医大医師
血液内科	新患	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子	村井 啓子
	再来	古和田 周吾		菅原 健		菅原 健
循環器科	新患	市川 隆	金矢 宣紀	齋藤 雅彦	佐久間 雅文	齋藤 雅彦
	再来	齋藤 雅彦	佐久間 雅文	市川 隆	金矢 宣紀	市川 隆
消化器科	新患	菊池 公二	鎌田 豪	藤原 隆雄	藤原 隆雄	鎌田又は、菊池
	再来	鎌田 豪	藤原 隆雄	菊池 公二	鎌田 豪	藤原 隆雄
呼吸器科	新患・再来	—	—	医大医師 (再来予約のみ)	医大医師	—
アレルギー科	新患・再来	—	—	—	—	—
神経内科 (※再来予約患者のみ)		医大医師		医大医師		
小児科	1診	田中 健太郎	佐藤 陽子	田中 健太郎	田中 健太郎	中辻 幸恵
	2診	高野 長邦	高野 長邦	高野 長邦	高野 長邦	高野 長邦
外科	新患・再来	飯島又は、石田	川村 英伸	中屋 勉	畠山 元	杉村 好彦
小児外科	新患・再来	—	畠山 元	畠山 元	畠山 元	—
整形外科	1診	一戸 克明	一戸 克明	—	一戸 克明	薄井 知道
	2診	菅原 敦	薄井 知道	—	薄井 知道	菅原 敦
脳神経外科	新患・再来	久保 直彦	木戸口 順	久保 直彦	木戸口 順	船山 雅之
皮膚科	新患・再来	角田 加奈子	角田 加奈子	角田 加奈子	角田 加奈子	角田 加奈子
泌尿器科	1診	沼里又は、福田	沼里又は、福田	沼里又は、福田	沼里又は、福田	沼里又は、福田
	2診	医大医師	—	佐々木 千恵子	佐々木 千恵子	—
産婦人科	1診(婦人科)	松田 壯正	菅原 英治	藤原 純	船越 真生	畑山 寿緒
	2診(婦人科)	畑山 寿緒	松田 壯正	船越 真生	藤原 純	菅原 英治
	3診(産科)	畑山 伸弥	畑山 寿緒	畑山 伸弥	菅原 英治	松田 壯正
眼科	新患・再来	—	濱端 久仁子	濱端 久仁子	濱端 久仁子	濱端 久仁子
耳鼻咽喉科	新患・再来	佐藤 尚徳	横山 哲也	佐藤 尚徳	横山 哲也	佐藤 尚徳
放射線科	新患・再来	角原 紀義	角原 紀義	阿部 知博	角原 紀義	阿部 知博
精神科	再来のみ	医大医師	—	—	—	—
リハビリテーション科外来		木戸口 順	—	木戸口 順	—	木戸口 順
ペインクリニック外来		—	岡田 一敏	—	西嶋 茂樹	—

午後		月	火	水	木	金
緩和ケア科外来 (※完全予約制)		旭 博史	—	旭 博史	—	—

担当医師が休診・交替になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- ◇ 通常のご紹介(平日 8:30~17:00)は、地域医療連携室へFAXにてご連絡いただきます様、お願いいたします。
- ◇ 重症・緊急のご紹介(平日 8:30~17:00)は、各診療科外来へ直接お電話でご連絡いただきます様、お願いいたします。
- ◇ 時間外のご紹介(17時以降・土曜・日曜・祝祭日)は、急患室へお電話をお入れくださいます様、お願いいたします。

いずれの場合も、患者様に「診療情報提供書」をお渡しくださいます様、お願いいたします。

地域医療連携室 専用Fax番号：019-637-3313 盛岡赤十字病院 代表電話番号：019-637-3111

- ◇ 地域医療連携に関するご意見・ご要望・お問い合わせは、地域医療連携室へご連絡いただきます様、お願い申し上げます。
- 地域医療連携室：019-637-3312 E-Mail：<renkei@morioka.jrc.or.jp >